

2014（平成26）年度

# 事業報告書

自 2014（平成26）年4月 1日より

至 2015（平成27）年3月31日まで

学校法人 九州ルーテル学院

# 目次

1. 学校法人の概要	1 ページ
1.1 建学の精神	1 ページ
1.2 学院の沿革	1 ページ
1.3 設置する学校・学部・学科等	2 ページ
1.4 学生・生徒・園児の状況	3 ページ
1.5 役員の概要	4 ページ
1.6 評議員の概要	5 ページ
1.7 教職員の概要	6 ページ
1.8 組織図	7 ページ
2. 事業の概要	
2.1 大学・大学院	8 ページ
2.1.1 学生確保 2015 年 入試結果	
2.1.2 就職	
2.1.3 Inclusive Education 障害学生サポート	
2.1.4 新規事業開始	
2.1.5 大学院	
2.1.6 ジャニス	
2.2 中学・高校	9 ページ
2.2.1 教育環境の整備	
2.2.2 教学内容<中学校>	
2.2.3 教学内容<高校>	
2.2.4 教学内容<中学・高校共通>	
2.2.5 企画事業	
2.3 幼稚園	13 ページ
2.3.1 園児の動向と将来計画にむけて	
2.3.2 キリスト教保育の充実と教師の資質向上	
2.3.3 特別支援教育の充実	
2.3.4 学校評価の充実	
2.3.5 認定こども園への移行準備	
2.4 法人及び事務部門	14 ページ
2.4.1 事務部門全体	
2.4.1.1 強い職員集団づくり	
2.4.2 法人運営	
a) 広報	
b) 人事労務	
c) 経理	
d) 施設・環境整備	

e) 阿蘇山荘	
2.5 宗教教育	15 ページ
2.5.1 学院の宗教活動	
2.5.2 大学における宗教活動	
2.5.3 中学・高校における宗教活動	
2.5.4 幼稚園における宗教活動	
2.6 入試結果・入園入学状況	16 ページ
2.7 卒業生数及び進学・就職状況	18 ページ
2.7.1 2014年度卒業・卒園数	
2.7.2 2014年度卒業生の進学・就職の状況	
2.7.2.1 中学校	
2.7.2.2 高等学校	
2.7.2.3 大学	
2.8 施設等の状況	20 ページ
2.9 年間行事	22 ページ
2.10 その他	24 ページ
2.10.1 当該年度の重要な契約	
2.10.2 係争事件の有無と経過	
2.10.3 決算日以降に生じた重要な事実	
3. 財務の概要	25 ページ
3.1 決算の概要	25 ページ
3.1.1 貸借対照表の概要	
3.1.2 資金収支計算書の概要	
3.1.3 消費収支計算書の概要	
3.2 経年比較	31 ページ
3.3 主な財務比率比較	32 ページ
3.3.1 貸借対照表関係比率	
3.3.2 収支計算書関係比率	
3.4 その他	36 ページ
3.4.1 有価証券の状況	
3.4.2 借入金の状況	
3.4.3 学校債の状況	
3.4.4 その他	
3.4.4.1 寄付金の状況	
3.4.4.2 収益事業の状況	
3.4.4.3 関連当事者との取引	
付録 学校会計について	37 ページ

# 1. 学校法人の概要

## 1.1 建学の精神

学院標語（学訓） 感恩奉仕

学院聖句 わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。  
(ヨハネによる福音書 10 章 10 節 b)



本学院の校章は、中心部は図案化されたバラの花が置かれ、バラを囲む三角で縁取りされている。三角の型は、キリスト教会には馴染み深いシンボル・三位一体の神に由来するものだが、学院では学校の間育成・教育の課題である「知育・徳育・体育」を表すものとして扱ってきた。

中心部におかれたバラ模様はルター派教会のシンボルである。

「純粋」を表す白いバラ模様の中心には、ルター紋章では赤いハートに十字架を刻み、キリストの十字架の心が記されているが、学院紋章では「赤い丸」に単純化されている。それは単純化と云うよりは「キリストの十字架の血」に置きかえられたものである。その「一点」こそが、学院の原点であり、それは「霊育」という原点である。

「霊育」を原点とし、そこに支えられて「知育・徳育・体育」による人間形成が営まれる学府を「校章」は謳っている。そこから生まれる人間が「神の恩寵（恵）に感謝し、神と人に仕える」「感恩奉仕」に生きること目標を置くところに学院の使命と伝統がある。

## 1.2 学院の沿革

- |                 |   |
|-----------------|---|
| 1908 年          | 米国ペンシルベニア州のインマヌエル・ルーテル教会で、「日本に女子学校を作るために」5ドルが献金された。   |
| 1921 年 9 月      | 北米一致ルーテル教会婦人伝道局総会で、日本に女子学校建設を決議。  |
| 1922 年          | 日本のルーテル教会第 3 回総会で、女子学校設立を決議。  |
| 1923 年 1 月      | 米国婦人伝道局が 17 万 5 千ドルを目標に募金運動開始。2 年間で延べ 30 万人から 25 万 6182ドルを募金。特に、オハイオ州のジェームズ夫妻は、日本への宣教師を夢みて 8 歳で夭折した娘ジャニスのために特別多額を寄付。新しくできる学校は、「Janice James School」と呼ばれることになった。 |
| 1925 年 12 月     | 私立学校認可申請を熊本県知事に提出、翌年 2 月認可。   |
| 1926 年 4 月      | 九州女学院開校。初代院長マーサ・B・エカード  |
| 1928 年 10 月 3 日 | 専門学校入学者検定規定による文部大臣指定(この日が創立記念日)   |
| 1931 年 2 月      | 修業年限 5 箇年指定(高等女学校高等科入学資格)   |
| 1931 年 3 月      | 第 1 回卒業式  |
| 1941 年 11 月     | 九州女学院財団法人設立 校名は九州女学院高等女学校となる  |

1943年4月	四年制高等女学校となり校名を清水高等女学校と変更
1946年3月	同窓会「のいばら会」発足
1946年4月	五年制高等女学校へ復帰 校名は九州女学院高等女学校となる
1947年4月	九州女学院中学校(新制)を設置
1948年4月	九州女学院高等学校(新制)及び九州女学院幼稚園を設置
1975年1月	短期大学設立認可
1975年4月	九州女学院短期大学[英語学科、児童教育学科]開学
1996年12月	大学設立認可
1997年4月	九州ルーテル学院大学[人文学部人文学科]開学
1998年3月	短期大学閉学
2001年3月	野々島グラウンド落成
2001年4月	中学・高等学校を男女共学とし、ルーテル学院中学・高等学校と校名を変更。法人名を、九州女学院から九州ルーテル学院に改名
2001年7月	中学高校男子寮竣工
2002年10月	大学4号館竣工
2002年7月	菊南グラウンド落成
2004年4月	大学に[心理臨床学科]開設
2005年3月	学生自治会・部室棟(学生ホール)竣工
2006年4月	大学に大学院(修士課程)人文学研究科障害心理学専攻開設
2007年4月	大学人文学部人文学科にキャリア・イングリッシュ専攻とこども専攻を開設
2009年4月	大学が大学基準協会認証評価適合
2010年4月	大学に小学校教諭一種免許状の課程開設
2013年4月	認可外保育施設ルーテル学院幼児園開設

### 1.3 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開校年月	学部・学科等	摘要
九州ルーテル学院大学	1997年4月	人文学部人文学科	
	2004年4月	人文学部心理臨床学科	
九州ルーテル学院大学・大学院	2006年4月	人文学研究科障害心理学専攻	
ルーテル学院高等学校	1948年4月		
ルーテル学院中学校	1947年4月		
ルーテル学院幼稚園	1948年4月		
ルーテル学院幼児園	2013年4月		付随事業

## 1.4 学生・生徒・園児の状況

### ①在籍者数

2014年5月1日現在

単位:人

学 校	学 年	学科	定員数	クラス数	園児・生徒・学生数		
					学科別計	合 計	
幼稚園	満3歳児		50	2	3	3	
	3歳児				40	40	
	4歳児		50	2	41	41	
	5歳児		50	2	48	48	
	計		150	6	132	132	
中学校	1年		80	2	74	74	
	2年		80	2	53	53	
	3年		80	2	69	69	
	計		240	6	196	196	
高等学校	1年		320	10	396	396	
	2年		320	9	363	363	
	3年		320	8	268	268	
	計		960	27	1027	1027	
大 学	1年	人文	保育	30	2	30	155
			児童教育	10	1	13	
			キャリア	35	2	38	
		心理臨床	75	4	74		
	2年	人文	保育	30	2	33	191
			児童教育	10	1	20	
			キャリア	35	2	40	
		心理臨床	75	4	98		
	3年	人文	保育	30	2	31	182
			児童教育	10	1	23	
			キャリア	35	2	46	
		心理臨床	75	4	82		
	4年	人文	保育	30	2	34	184
			児童教育	10	1	21	
キャリア			35	2	42		
心理臨床		75	4	87			
長期履修学生	人文	5	-	0	16		
	心理臨床	5	-	16			
計			600	35	748	748	
科目等履修生、研究生			-	-	10	10	
大学院	1年	障害心理学専攻	5	-	5	10	
	2年	障害心理学専攻	5	-	5		
	計		10		10		
	研究生、科目等履修生			-	-	1	1

## 1.5 役員の概要

職名又は 担当職務	フリガナ 氏 名	常勤・ 非常勤 の別	就任年月日	備 考
理事長	坂根 信義	非常勤	2002年6月24日	理事長就任 平成27年3月2日
理事	清重 尚弘	常勤	2002年4月1日	院長・学長
理事	林田 博文	常勤	2012年4月1日	中学高校長
理事	尾田 明子	常勤	1998年10月20日	幼稚園長
理事	山口 初子	非常勤	2007年9月28日	元熊本ライトハウス・のぞみ ホーム施設長
理事	長岡 立一郎	非常勤	1998年10月20日	九州学院理事長
理事	於保 郁子	非常勤	2004年10月1日	元めぐみ幼稚園長
理事	潮谷 愛一	非常勤	2014年5月28日	熊本市社会福祉協議会会 長
理事	古屋 四朗	常勤	2008年4月1日	事務局長
理事	福田 邦子	非常勤	1995年7月10日	のいばら会顧問 愛育会福田病院理事
理事	谷口 美樹	非常勤	2014年10月1日	のいばら会会長
理事	米澤 房朝	非常勤	2001年5月30日	ヨネザワ社長 清水学園理事長
理事	市川 一宏	非常勤	2004年10月1日	ルーテル学院大学教授
理事	石原 靖也	非常勤	2006年4月1日	元東光石油会長
監事	河崎 隆夫	非常勤	2008年10月1日	元日本福音ルーテル教会 九州教区事務所主事
監事	寺本 行義	非常勤	2008年10月1日	元リデル、ライト両女史記念 館館長

## 1.6 評議員の概要

氏名	就任年月日	備考
坂根 信義	2002年6月24日	理事長
山口 初子	2007年9月28日	元熊本ライトハウス・のぞみホーム施設長
長岡 立一郎	1998年10月20日	九州学院理事長
於保 郁子	2004年10月1日	元めぐみ幼稚園長
潮谷 愛一	2014年5月28日	熊本市社会福祉協議会会長
清重 尚弘	2002年4月1日	院長・学長
林田 博文	2012年4月1日	中学高校長
尾田 明子	1998年10月20日	幼稚園長
古屋 四朗	2008年4月1日	事務局長
豊田 憲一郎	2014年10月1日	大学教授
志水 龍星	2000年5月29日	大学事務長
西山 慎一郎	2014年10月1日	中学高校教諭
濱崎 庸一	2014年10月1日	中学高校教諭
和田 成子	2001年1月17日	幼稚園教諭
福田 邦子	1995年7月10日	のいばら会顧問・愛育会福田病院理事
齋藤 禎子	2012年10月1日	元のいばら会会長
谷口 美樹	2014年10月1日	のいばら会会長
平田 晶子	2013年12月11日	結会会長
宮川 由香理	2013年12月11日	結会役員
宮本 るみ	2012年5月29日	大学保護者
井 隆博	2013年6月1日	中学高校PTA会長
岡村菜津子	2014年10月1日	幼稚園PTA会長
石原 靖也	2006年4月1日	元東光石油会長
米澤 房朝	2001年5月30日	ヨネザワ社長・清水学園理事長
市川 一宏	2004年10月1日	ルーテル学院大学教授
内村 公春	2002年5月29日	慈愛園理事長
春木 進	2004年9月28日	熊本日日新聞編集委員
梅元 昭宏	2004年9月28日	梅元税理士事務所長
俵 恭子	2005年2月1日	

2014年5月27日まで任期

潮谷 義子	2012年4月1日	日本社会事業大学理事長
寺本 紀子	2013年6月1日	前幼稚園PTA会長

2014年9月30日まで任期

濱田 信夫	2006年9月28日	大学教授
大野 雅人	2012年10月1日	中学高校教諭
田仲 洋介	2012年10月1日	中学高校教諭



## 1.7教職員の概要

### 教職員組織<院長 清重 尚弘>

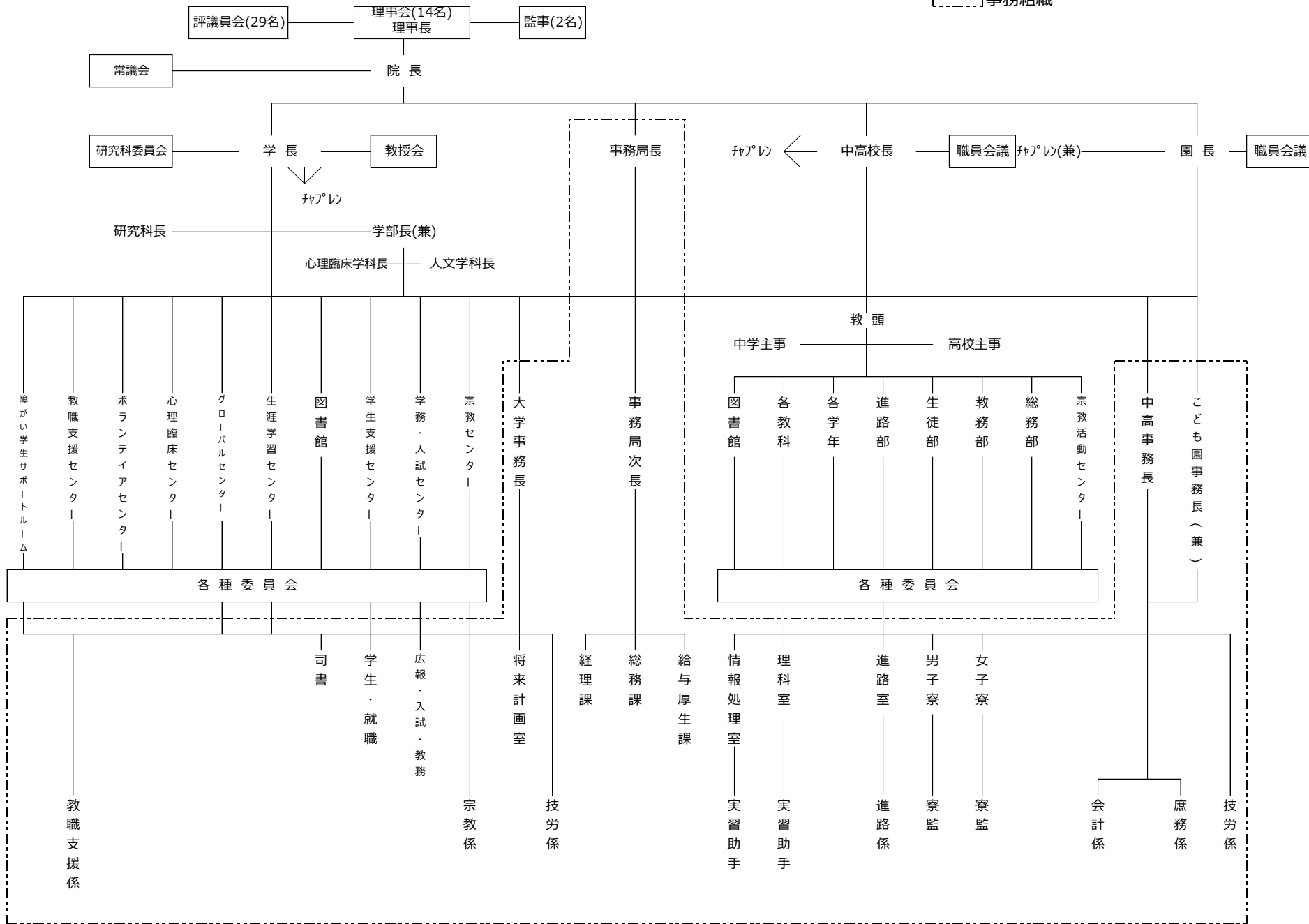
2014(平成26)年5月1日現在

区分	教員区分	人数	職員区分	人数
幼稚園 〈園長 尾田 明子〉	専任	5	専任	-
	臨採	2	嘱託	1
	非常勤	9	非常勤	1
	計	16	計	2
	教職員合計			18
中学校 〈校長 林田 博文〉	専任	9	専任	1
	臨採	3	嘱託	3
	非常勤	5	非常勤	6
	計	17	計	10
	教職員合計			27
高等学校 〈校長 林田 博文〉	専任	51	専任	4
	専任(J3)	4	臨採	1
	臨採	4	嘱託	4
	非常勤	23	非常勤	5
			寮監	6
	計	82	計	20
教職員合計			102	
大学 〈学長 清重 尚弘〉	専任	38	専任	17
	兼任	71	嘱託	-
			非常勤	11
	計	109	計	28
	教職員合計			137
大学院 〈研究科長 一門 恵子〉	兼任講師	8		
	兼担	10		
	計	18		
学院総務部 〈事務局長 古屋 四朗〉			専任	7
			嘱託	1
			非常勤	2
			計	10

(注)平均年齢は、専任教員45.7歳(J3, 牧師含む)、専任職員は46.6歳である。

2014年度 学校法人 九州ルーテル学院 組織図 (2014.5.1現在)

[-----] 事務組織



## 2.事業の概要

### 2.1 大学・大学院

#### 2.1.1 学生確保 2015 年 入試結果

志願者数計 455 名で、昨年度（594 名）より減少。一昨年度 549 名。

内容的には上昇傾向は続き、評定平均値 4.0 以上がほぼ半数、面接評価も志望動機の高さなどの面で、高い。

懸案の、ルーテル高校からの進学について：「指定校推薦」の制度と区別して「併設校指定」の制度新設の合意ができた。

#### 2.1.2 就職

就職難が報じられる中、善戦健闘。就職率 98.8%

特筆すべきは、幼保 37 名が 100%。教員 39 名が 100%。PSW（精神保健福祉士）取得希望者 12 名中合格 11 名で、91.7%。

就職指導は個別指導を徹底し、少人数の本学に適した“寺子屋方式“での種々の試みが効果を挙げ、学生の意欲が高い。

#### 2.1.3 Inclusive Education 障害学生サポート

柴田美優さんが 3 学年に進級、本人の志と努力、それに周囲のサポート態勢が相まって、成果があがっているのは喜ばしい。全学的な研修によって Inclusive Campus の形成が進んでいる。

今年度さらに 2 名の“障がい学生“が入学、受け入れ態勢を整えている。

#### 2.1.4 新規事業開始

新たに保育事業に参入：既設の幼稚園の「認定こども園」への移行と同時に黒髪乳児保育園の民営化の受け手となって、一年間の合同保育が今年度開始されている。来年度からは、大学付属保育園として新たなスタートに。

大学こども専攻主任永野教授が付属保育園の担当となる。保育事業参入に際しては、於保理事、角野園長(白羊園)、福田園長(シオン園)の支援を頂いた。

#### 2.1.5 大学院

修士号取得者数は 4 名。現職を持ちながら学べる大学院として、少数ながら、貢献している意味は大きい。新たに院生対象の奨学金制度を設けた。

#### 2.1.6 ジャニス

昨年 7 月発足のジャニスは徐々にクライアント増加で、スタッフ補充した。東京のカウンセリング団体との提携が始まっている。規定の承認をいただき、研究所として組織が整った。以上

## 2.2 中学・高校

### 2.2.1 教育環境の整備

- 「3号館の改修工事」を実施し、保健室・図書館、英会話教室・書道室など、教育環境の改善と充実を図ることができた。

### 2.2.2 教学内容<中学校>

- 自立した中学生の育成 ～行事の見直しと具体的な取り組み～

- ◆「体験学習」を中学3学年全体で実施 9月10日(水)～12日(金)の3日間
  - 1年生：ルーテル阿蘇山荘において「野外活動体験」。ハイキング・箸づくりなどプログラム内容の定着により充実してきた。  
また、九州ルーテル学院大の学生サポーターの参加により、指導内容が充実した。大学生が良き模範となり、学びと良き交流を持つことができた。
  - 2年生：1人1事業所での「職場体験」を計画し実施できた。準備段階での困難さは多くあるが、保護者と教職員の協力により乗り越えることができた。「つまりきからの学び、ひとりでのチカラ」を経験させたいと考えている。体験学習後の子どもたちの成長に期待したい。
  - 3年生：慈愛園熊本ライトハウス(ルーテル社会福祉法人 慈愛園)で「福祉・ボランティア体験」を体験した。今後も施設の協力を得て、生徒たちの大きな成長のきっかけとしていきたい。“ひとの心に触れ、自分の心を伸ばす”初日は生徒による事前学習。2日目は校内で熊本ライトハウスの先生方からの講義。3日目は福祉・ボランティア体験学習。PTA活動(タオル・シーツを集めて雑巾として使用)とのつながりも強まった。
- ◆学級づくり・集団づくり・仲間づくり
  - 日々の礼拝や終礼、ホームルーム活動・行事などを通して学級づくりに取り組むことができた。個人の成長と共に、集団の中で個人・個性を認め合う仲間づくりの取り組み。生徒会活動でも、いきいきとした生徒の育成に努めることができた。
- ◆合唱コンクールの開催
  - 今年で4回目、中学行事として充実。合唱・伴奏・指揮ともにすばらしいコンクールになった。特に、中学3年生が先輩として自分たちの思いを込めて、クラスで団結し合唱する姿には感動を覚える。さらに今年は、大学チャペルで学院祭に合わせて開催した。多くの保護者の方をお迎えし、大学チャペルの良い雰囲気の中で、すばらしいコンクールだった。また、金賞のクラスは「ルーテル学院音楽会」で自由曲を、中学全員で課題曲を県立劇場のステージで観客の皆様披露した。この行事の取り組みが、卒業式における卒業生による感動的な合唱へとつながっていることも喜ばしいことである。

- 一人ひとりの学力向上 ～確かな学力を身につける～

- ◆日々の確かな取り組み
  - 担任が「能率手帳」と「自学ノート」の点検を行い、生徒が自己管理能力を高め、基礎学力の定着と学ぶ意欲の向上へとつなげている
- ◆英語教育の充実
  - 中学の英語教育を充実させるとともに、ネイティブイングリッシュティーチャーとの協力も“中学教育の強み”とし、コンテストなどへも積極的に参加した。

◆授業アシスト制度の推進と改善

➤授業効率の向上と特別支援を要する生徒に対応しながら授業管理をすることができた。今後も、より効果的で、生徒が主体的に授業へ取り組めるよう改善を図る。

◆「学びタイム」の実施

➤意欲的な生徒または学力不振の生徒に対して、毎週木曜日と考査前および長期休暇中に「学びタイム」を実施した。学習ルームの活用が充実。また、習熟度別に実施することで成果を上げつつある。

◆進路部との連携による進学指導

➤中学学年会と進路部がより連携を図り、高校への進学指導が充実してきた。まだまだ、成績上位者が公立高校や別の私学を受験する傾向にあるが、ルーテル学院に進学し、学力の向上を目指す生徒が増えつつある。

○中学校におけるキャリア教育 ～将来を見通した進路設計～

◆「J1 野外活動体験、J2 職場体験、J3 福祉・ボランティア体験」の系統化

➤同時期に3学年の体験学習を組み込んでいるため、準備に多忙感はあるが、中学部を中心に計画して年々充実している。

◆進路カウンセリング、進路ガイダンスなどの充実

➤二者面談および三者面談を通し、一人ひとりの将来の進路設計を考えるきっかけになっている。生徒がさらなる高みを目指すための進路指導を図りたい。

◆「中学3年生 学力検討委員会」の実施

➤中学教育における学力の質的向上を図る上で、指導する側が情報を分析し共有、具体的な取り組みへとつながった。さらに、中学生の学力向上を図り、中学教育の改革へとつなげる。

### 2.2.3 教学内容<高校>

○進路保障について

➤志望校への合格という目標達成のために、受験指導と進路指導をしていきたい。これからも生徒たちの希望進路を達成できるように努力する。

○高校におけるキャリア教育 ～将来を見通した進路設計～

◆高校1年生の“社会人講師によるキャリア講演”の取り組み

➤キャリアのある社会人講師をお招きし、進路につながる生の声を聞くことができた。また、研修旅行もキャリア教育につながる研修先を選択してプログラム内容の充実が図れた。

◆進路カウンセリング、進路ガイダンスなどの充実

➤二者面談および三者面談を通し、各学年に応じた具体的な進路相談や進路設計と進路決定につなげることができた。生徒がさらなる高みを目指す進路指導を図りたい。

○朝読書の充実

➤高校でも朝読書を開始した。現実的にはまだまだ、生徒間に読書に対する意識差はあるが、読書の必要性を感じ徐々に定着しつつある。

### 2.2.4 教学内容<中学・高校共通>

○キリスト教教育の充実教育

- ◆ J3 (ネイティブ英語教師) が高校3年修養会に参加
  - 高校3年修養会にJ3が参加し、プレゼンテーションとプログラムを企画・運営
- ◆ 受洗者祝福会 2月27日(金) 昼休み 校長室
  - 高校生：室原牧人(高校2年生)、初瀬優香さん(高校3年生 美大に志望)
- 「特別支援教育」と生徒への対応を高める取り組み
  - ◆ SSW (スクールソーシャルワーカー) の活用
    - 私学協会の委託事業。学校で対応が困難な生徒および保護者にSSWを活用することにした。学校側の努力と工夫で対応できないケースが多くなり、専門家のアドバイスを教育現場で生かすことができている。
  - ◆ サポート委員会での取り組み
    - 発達障害を含んだ特別支援教育の指導体制が組織的に取り組めるようになった。熊本県私学サポート事業の活用により、より効果的な指導プログラムを組むことができた。また、授業アシスト制度と連携することもできた。
- 中学および高校各コースにおける定員100%充足
  - ◆ 定員の充足率
    - 中学69名(86%)、高校330名(103%)の入学生を迎えることができた。
    - 2015年度も教育内容を充実し、ルーテルの教育をアピールして募集につなげる。
  - ◆ 芸術コース入学者と募集活動
    - 22名(音楽13名、美術9名)。指導内容と施設をより充実させ、芸術コースで1クラス編成できるよう努力する。まずは、芸術コース受験生の確保を図る。
    - 「はな阿蘇美コンサート(6月の土曜日)」、「山鹿温泉プラザミニコンサート(8月の土曜日)」を総務部の協力を得て開催し、募集活動に努めた。
  - ◆ 美術展(芸術コース美術)の開催 12月16日~21日 崇城大学ギャラリー
    - 美術展を企画・開催。今回で3回目の取り組み。内容も充実し、会場を訪れてくださる方も増えて、芸術(美術)の募集活動にもつながっている。
- グローバル教育・国際交流プログラム
  - ◆ オーストラリア研修旅行(インマヌエルカレッジ アデレード)
    - 2014年7月28日(月)~8月10日(日)
    - 九州学院と合同で実施した。ルーテル学院からは19名が参加した。
  - ◆ 韓国全州新興高校研修旅行 2015年3月19日(木)~23日(月)
    - 高校1年生12名が参加。春休みの時期(新興高校は新学期)に定着し、高校生世代での国際交流ができている。引率教師(上原志穂先生)も研修旅行における生徒たちの積極的な姿に感動された。
  - ◆ 中学カナダ(バンクーバー)語学研修旅行 2015年3月17日(火)~25日(水)
    - 中学3年生9名と2名の引率教師(上原・岩原先生)で実施することができた。中学で学んだ英語力を生かす機会として、カナダで語学研修を実施できることに喜びを感じる。この研修旅行での学びを将来につなげ、ルーテル学院中学生がグローバル社会で活躍することを夢見たい。
- ボランティア活動
  - ◆ ハンドベル部被災地慰問演奏(別紙資料) ※全国総文祭(つくば市)参加後に慰問
    - 参加生徒数 19名、引率教員 常定先生・上原志先生
      - ・7月30日(水)：被災地訪問(福島県いわき市)
      - 7月31日(木)~8月2日(土)：被災地訪問(石巻市)

※バスによる移動でかなりハードな日程だった。このプログラムは2回目、建学の精神と「感恩奉仕」につながる活動。立野牧師（大江教会）の案内もあり、生徒たちの疲労度は高かったが貴重な学びの多い体験となった。

➤「パープルリボン特別賞」受賞（国際ソロプチミストすみれ）

◆夏休みを中心に、ボランティア活動を推進している。教会からの要請で、神水教会、室園教会、熊本教会、合志教会でボランティア活動を行った。生徒の成長と共に、教会とのつながりを深めることができた。

○「自己育成シート【教諭・講師用】」による面談を実施

➤前期と後期の2回、教諭及び講師の面談を教頭・中学主事・高校主事で実施し、教育の質的向上の手掛かりにし、継続して“ルーテルの教育”を高めていきたい。

### 2.2.5 企画事業

○「中学2年沖縄研修旅行」 2014年12月2日（火）～5日（金）

➤見学地の首里城では、興南中学・高校社会科部の生徒による“首里城ガイド”で散策し、知識と交流を深めることができた。

○「成人をともに祝う会」2015年1月12日（祝日）12時50分 礼拝堂・学院会館

➤のいばら会のご支援とご協力で実現した取り組み。今回で3回目卒業生の学年代表の中田さん・藤本さん、のいばら会役員の横山さんが担当し準備を進め、ディアコノス会役員の皆さんとも打ち合わせを行い、盛大に祝う会ができた。年々参加者が増えていることは喜ばしいことで、皆さまの協力を感謝申し上げたい。

○「中学平和学習」2015年3月10日（火）5・6・7限目 大学4301講義室

➤目的：聖書、建学の精神「感恩奉仕」からの学び、戦争という事実から平和の意味を深く理解し、平和を次世代へと継承する担い手になるために行う。

➤内容：1）「あゝひめゆりの塔」のDVD視聴（モノクロ 125分）

2）中学2年生による沖縄研修旅行での現地学習発表会（30分）

3）レポート作成

・中学2年生：「平和の実現に向けて、今の私にできること」

・中学1年生：「沖縄研修旅行で学びたいこと」

※年々、発表の姿勢と発表内容が良くなり、すばらしい会として成長している。生徒の準備と教師側の指導が一体となり、と発表内容も非常にすばらしかった。

また、中学1年生にとっては12月の「沖縄研修旅行」に向けて、2年生からの体験談を直接聞くことができ、2年生による1年生のための事前学習となった。

生徒の潜在能力の高さと教師の指導力の重要性を再認識する良い機会である。今後、ミッションスクールとして“平和”への学び大切に守り続けていきたい。

○優勝報告会「スノーボード世界選手権スロープスタイル 最年少優勝 鬼塚雅」開催  
2015年2月17日（火）

※全校生徒で鬼塚さんの優勝報告会を行うことができたことは大きな喜びである。南国での快挙、しかも最年少優勝には生徒たちも感動と驚きを隠せない様子だった。鬼塚さんの今後の活躍に期待したい。

○旧教職員の集い 2014年6月20日（金） ホテル日航熊本

➤旧教職員の方々との交流の時を持つことができた。懐かしい話を聴くことができ、改めて、ルーテル学院で働く誇りと喜びと感謝を持つことができた。

## 2.3 幼稚園

### 2.3.1 園児の動向と将来計画にむけて

2014年度の園児数は、定員150名に対して5月1日現在132名でスタートし、満3歳児が誕生月毎に幼稚園入園となるので、年度末では156名の在籍数を確保することができた。

2歳児は、2013年度より開所している認可外保育所『ルーテル学院幼稚園』（24名定員・保育士3名・看護師1名）2年目の歩みを順調に行うことができた。

園舎改築に伴い、10月から女子寮住宅にて仮園舎として保育を行った。なお、1月には熊本市保育幼稚園課からの立入り調査を完了し、更に次年度以降計画の「幼保連携型認定こども園」の移行に伴い、認可外保育施設『ルーテル学院幼稚園』は閉鎖となった。

### 2.3.2 キリスト教保育の充実と教師の資質向上

- ・今年度も教育方針の要である『キリスト教保育指針』『保育指針』『教育要領』を中心にカリキュラムを実施した。
- ・新任教師も含めキリスト教を土台とする保育に対する学びを研修などで深め、こども園としての教育・保育要領の学びへと進めていく。
- ・保育士資格を取得する教師の為の計画を実施し、次年度に備える。

### 2.3.3 特別支援教育の充実

- ・14名の特別支援を必要とする子どもたちが在籍していたが、全員公立小学校へ入学した。
- ・新年度は更に重複障がいの子どもの複数受け入れているので、15名の支援の必要な子どもに継続して看護師2名を含め、補助教諭の増員で対応予定。
- ・「特別支援コーディネーター」の研修を通して熊本市発達支援センターとの連携で学びも深まり、3名の教師がコーディネーター教諭として登録。
- ・特別支援の必要な子どもたちは補助の教諭を充実させながら、療育施設や専門機関との連携を密にとりながら受け入れていく予定である。

### 2.3.4 学校評価の充実

- ・保護者も含め・第三者評価への（自己・教育(保育)・幼稚園）取り組みはまだ継続し、改善しながら取り組みたい。

### 2.3.5 認定こども園への移行準備

- ・平成27年度開設の『幼保連携型認定こども園』について、保育室・厨房の増設、改築が3月で完了(絵本の部屋が4月に完成)し、次年度の認定こども園への開設にむけ不安はあるものの、準備の年となった。



## 2.4 法人・事務部門

### 2.4.1 事務部門全体

事務部門は 2011 年度から、『魅力ある学校を作る』を共通スローガンとした上で、サービス向上、業務改善、成長の 3 つの視点で、全体、部署および個人の目標を設定して進めている。

事務部門は各自が何らかのサービスを担当しているので、それぞれに具体的なサービス向上の目標を立て、またサービス向上の基盤となる、管理性・業務効率・業務品質の向上に力を入れた。

#### 2.4.1.1 強い職員集団づくり

職員の人材育成には特に力を入れ、建学の精神に基づく高い志と、実質的な知識・能力を持った、自律的職員集団の形成をめざして、体系的に取り組んでいる。全職員と全研修機会のマトリクスを作成して、計画的に研修を受講させている。

特に 2014 年度は、大学行政管理学会や、大学コンソーシアム熊本 S D 委員会の同一業務担当者交流会等で、更に成長の機会が広がった。

全職員研修会では、「防災」をテーマに開催し、全員が真剣に訓練するとともに課題を協議した。

### 2.4.2 法人運営

#### a) 広報

生徒・学生の活躍によりマスコミ媒体に採り上げられる件数が年間 100 件を超えた。

#### b) 人事労務

教職員の身心の健康のために安全衛生委員会を中心として地道な活動を推進している。

昨年度に「子育て応援ガイドブック」を作成したが、最近の本学院は出産が相次いでいることから、これが活用されているという確かな手応えを感じている。「人事労務関係届出の手引き」もほぼ完成した。

#### c) 経理

2015 年度からの新会計基準への移行準備を完了した。

#### d) 施設・環境整備

90 周年記念事業でバス停を作り、バス通り坂・けやき坂一带の景観が一新した。

プールと高校本館の間や女子寮周辺の路面を整備した。

#### e) 阿蘇山荘

阿蘇山荘は初めて収支が黒字になった。年に一度の教会との合同清掃、職員による施設の手入れ、ホームページによる宣伝、九州教区による利用者補助、中高による積極的な利用などの努力の成果である。

## 2.5 宗教教育

### 2.5.1.学院の宗教活動

キリスト教の建学精神に基づき、宗教活動・教育を行う中、本学は学校と教会が相互に協力できる働きを大変重視している。数年の模索を通して、今はその成果が見え始めており、両方の連携は深まっている。特に、県内各教派の牧師・司祭を招いたキャンパスミッション懇談会で、教会から沢山の有意義な提案をいただいたので詳しく検討の上、段階的に実施している。阿蘇山荘で各教派の力を合わせて行ったユースキャンプは既に定番の行事になった。次年度も学校と教会の連携がますます深まることを願っている。その他、クリスマス関連行事、キリスト教学校同盟及びルーテル諸学校との交流も定着している。また、クリスマスイルミネーション点灯式も本学院の定番行事である。

### 2.5.2.大学における宗教活動

大学では、教職員の宗教委員会と学生のチャペル委員会によって宗教活動を進めている。2014年度、宗教委員会のメンバーは10名、チャペル委員会のメンバーは83名であった。主な宗教活動は毎日の礼拝である。大学での礼拝は自由参加だが、参加者が多く、日々心静める時を過ごしている。本学の学生はほぼ全員、入学によってキリスト教と出会い、チャペル委員の活躍によって、礼拝に多くの参加がある。2014年度は149回の礼拝が持たれ、年間平均出席率は14%という高い水準を維持した。皆勤者が17名、1～2回欠席の精勤者が8名であった。その中、4年間皆勤・精勤者が5名であった。礼拝を好きになった学生が多かったという印象をもった。礼拝では色々な表彰式や、祝福式なども行っている。他の主な行事としては、阿蘇山荘清掃、サマーキャンプ及びクリスマス礼拝などがある。

### 2.5.3.中学・高校における宗教活動

近年整理してきた礼拝の順序や学年別礼拝堂入場に落ち着きが見られるようになった。本学の礼拝がさらに充実したものとなるためには形式上だけではなく、生徒・教職員の心構えが鍵となるため、こちらからの働きかけを今後とも模索したい。2014年度には、クラスごとに行われている終礼の内容調整と、生徒数増加に伴う修養会使用施設の変更に取り組んだ。終礼に関する課題については今後とも取り組み続ける。教会関連のボランティア活動の機会が増え、参加する生徒も多少増えたのはよい傾向だと思う。

### 2.5.4.幼稚園における宗教活動

園児は、日々の保育の中で教師が担当し、また週に1回黄チャプレンによる合同礼拝と保護者対象の聖書学びの会・教師の毎朝の礼拝を担当していただいている。キリスト教行事を通して、園児のみならず保護者にも理解をしていただけるよう、行事の折に参加を募ったり、説明に努めている。視聴覚などの教材を利用しながら、キリスト教の教えを分かりやすく教え、『祈る子ども』『他者に目を向けることができる子ども』をめざしている。

2.6 入試結果・入園入学状況(2015年4月入学者)

学校名	種別	志願者数	合格者数		入学(園)者数	
幼稚園	0歳児				(5/1時点)	2
	1歳児					7
	2歳児					16
	3歳児					44
	4歳児					41
	5歳児					48
	計					158
中学 募集定員 80	専願	40	奨学生A	1	奨学生A	1
			奨学生B	5	奨学生B	5
			奨学生C	4	奨学生C	4
			専願生	24	専願生	22
	奨学前期・後期	43	奨学生A	4	奨学生A	3
			奨学生B	7	奨学生B	4
			奨学生C	21	奨学生C	10
			奨学生D	5	奨学生D	2
	一般前期・後期	29	奨学生A	1	奨学生A	1
			奨学生B	2	奨学生B	1
一般生			20	一般生	16	
計	112		94		69	
高校 募集定員 320	専願	172	奨学生S	1	奨学生S	1
			奨学生A	8	奨学生A	8
			奨学生B	13	奨学生B	13
			奨学生C	7	奨学生C	7
			専願生	99	専願生	99
	奨学	502	奨学生S	3	奨学生S	-
			奨学生A	23	奨学生A	6
			奨学生B	80	奨学生B	12
			奨学生C	269	奨学生C	69
			奨学生D	58	奨学生D	17
	一般	272	奨学生S	1	奨学生S	-
			奨学生A	-	奨学生A	-
			奨学生B	2	奨学生B	-
			奨学生C	-	奨学生C	-
			一般生	151	一般生	49
	ルーテル中学	49	奨学生A	1	奨学生A	1
			奨学生B	6	奨学生B	6
			奨学生C	-	奨学生C	-
			認定生	42	認定生	42
計	995		764		330	

学校名	種別	志願者数	合格者数	入学(園)者数
大学 (人文学科) キャリアイングリッシュ 専攻 募集定員 35名	指定校推薦	18	18	18
	公募推薦	13	3	3
	授業料全額免除推薦	0	0	0
	帰国学生及び私費外国人留学生	0	0	0
	一般Ⅰ期	45	21	12
	一般Ⅱ期	7	4	2
	センター試験利用	22	13	3
	編入学	3	2	2
	長期履修学生(編入学)	0	0	0
	計	108	61	40
大学 (人文学科) こども専攻 保育コース 募集定員 30名	指定校推薦	18	18	18
	公募推薦	23	4	4
	授業料全額免除推薦	1	0	0
	帰国学生及び私費外国人留学生	0	0	0
	一般Ⅰ期	30	12	8
	一般Ⅱ期	5	2	1
	センター試験利用	17	4	0
	計	94	40	31
大学 (人文学科) こども専攻 児童教育コース 募集定員 10名	指定校推薦	3	3	3
	公募推薦	4	1	1
	授業料全額免除推薦	1	0	0
	帰国学生及び私費外国人留学生	0	0	0
	一般Ⅰ期	53	10	6
	一般Ⅱ期	11	5	3
	センター試験利用	18	4	0
	計	90	23	13
大学 (心理臨床学科) 募集定員 75名	指定校推薦	35	35	35
	公募推薦	27	7	7
	授業料全額免除推薦	3	0	0
	帰国学生及び私費外国人留学生	0	0	0
	一般Ⅰ期	66	54	36
	一般Ⅱ期	14	*	17
	センター試験利用	21	16	2
	編入学	1	1	1
	長期履修学生(一般入学)	0	0	0
	長期履修学生(編入学)	1	1	1
計	168	131	98	
定員150	大学合計	460	255	182
大学院人文学 研究科 (障害心理学専攻)	一般選抜	2	2	2
	社会人選抜	4	4	4
	計	6	6	6

\* 第2、第3希望の合格者を含む

## 2.7 卒業生数及び進学・就職状況(2015年3月卒業者)

【2015年5月1日現在】

### 2.7.1 2014年度卒業・卒園数 (人)

ルーテル学院幼稚園	48
ルーテル学院中学校	69
ルーテル学院高等学校	266
九州ルーテル学院大学	163
九州ルーテル学院大学・大学院	4

### 2.7.2 2014年度卒業生の進学・就職の状況

#### 2.7.2.1 中学校 (人)

ルーテル学院高等学校	49
その他	20
合計	69

#### 2.7.2.2 高等学校

##### 進学(合格者延人数) (人)

大学	国公立	11
	私立	183
	九州ルーテル学院大学	24
準大		0
短期大学	国公立	3
	私立	20
高等看護学校		15
その他の専門学校		63
合計		319

##### 就職 (人)

産業別就職者	公務員	5
	サービス業	12
合計		17

都道府県別就職者	熊本県	5
	県外	2
		7

### 2.7.2.3 大学

第15期生 一般企業(希望83人 決定者81人) (人)

医療福祉(うち精神保健福祉士合格者11人、合格率91.7%)	23
卸・小売業	18
サービス業	9
情報通信業	2
金融・保険業	5
運輸業	1
飲食店・宿泊業	4
不動産業	4
複合サービス業	4
製造業	6
建設業	4
公務員	1
合 計	81

第15期生 保育士・幼稚園教諭・施設保育士(希望者37人、決定者37人)

熊本市保育士	1
保育士	15
幼稚園教諭	21
合 計	37

第15期生 教員(希望者39人、決定者39人)

熊本県教員	1
熊本市教員	1
合志市教員	1
御船町教員	1
東京都教員	1
横浜市教員	1
兵庫県洲本市教員	1
臨時教員	32
合 計	39

【その他】

大学院	6
合 計	6

## 2.8 施設等の状況

### 2.8.1. 学院が所有する校地・校舎

(単位：㎡)

所在地	施設等	校地面積	校舎面積	利用対象
熊本市中央区黒髪 3丁目269番地 他 (黒髪キャンパス)	校地	46,434.19		大学、中高、幼稚園
	校舎15棟(学院会館、 学生自治会棟含む)		21,434.78	同上
	体育館1棟		1,925.88	中高
	部室棟2棟		395.28	同上
	寮2棟		4,157.11	同上
	その他		82.88	守衛室、トイレ棟
熊本市北区鶴羽田 竹ノ下他(菊南グ ラウンド)	校地	48,987		大学、中高(野球部)
	部室、監督室他		342.41	同上
合志市野々島中野 (野々島グラウン ド)	校地	19,099		中高(サッカー部)
	クラブハウス		228.8	同上
	部室棟他		85.31	同上
阿蘇郡南阿蘇村河 陽(阿蘇山荘)	校地	37,059		総務部で管理
	建物4棟		719.66	同上
合 計		151,579.19	29,372.11	

### 2.8.2 2014年度に購入した土地

菊南グラウンド裏門進入路入り口付近 鶴羽田2丁目303番1の土地(2006年4月、グラウンド用地購入の際に漏れていた土地)164㎡を2014年10月29日に購入。購入費用は3,300,000円。

### 2.8.3 2014年度に実施した工事

#### 1) 創立90周年記念事業：バス通り周辺整備

創立90周年記念事業の一環として、前年購入済の土地に新しいバス停を作り、バス停広場・バス通り坂周辺を整備した。土地購入費及び工事費は、合計29,548千円(税込)。当初予算の30,000千円以内で実施できた。工事施工業者は(株)タケウチ、諫山工業(株)、不二電気工業(株)。

バス通りに、ルーテル学院の伝統的なイメージが伝わるデザインで、通学者や地域住民の安全性を高め、誰にも優しいバス停を設置することができた。

## 2) 中高3号館改修工事

ア) 3号館の暖冷房設備をエアコンによる暖冷房設備に更新。

イ) 外壁及び屋根の防水塗装工事

ウ) 教室のカーペット張替等内装の改修工事

工事期間は6月中旬～8月末日。費用は48,600千円(税込)。施工は岩永組。

ボイラーに替えて、エアコンが新規導入され、生徒にとって快適な環境となり、建物も改修を行い、これからの使用に長期間耐えうるものとした。

### 2.8.4 2014年度に着工して2015年度完成となる工事

認定こども園園舎増築・改修工事

幼稚園を2015年4月から幼保連携型認定こども園に移行するに備えて、認定こども園としての園舎の基準に対応するため、増築及び改修を行った。

工事期間は、12月1日～4月15日。増築面積は222.28㎡。職員室、保育室他の増築を行い、厨房は女子寮の旧厨房を改修した。費用は、116,208千円(税込)。施工は岩永組。設計は、u.hアーキテクト。



## 2.9 年間行事

(2014年4月～2015年3月)

	大学	中学・高等学校
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学式、1年次生保護者会</li> <li>・ 新学期オリエンテーション</li> <li>・ フレッシュマンキャンプ（新入生歓迎オリエンテーション）</li> <li>・ 前期開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男子寮・女子寮 入寮式</li> <li>・ 入学式</li> <li>・ 始業式</li> <li>・ 中学1年生修養会</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生歓迎スポーツデー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育大会</li> <li>・ PTA総会、懇談会、懇親会</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学説明会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校3年生修養会</li> <li>・ 前期中間考査</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回オープンキャンパス</li> <li>・ 大学院説明会</li> <li>・ コンソーシアム進学ガイダンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校第1回オープンキャンパス</li> <li>・ 中学第1回入試説明会</li> <li>・ 中学サマースクール</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員免許状更新講習</li> <li>・ 第2回オープンキャンパス</li> <li>・ 長期履修学生入学試験</li> <li>・ こども専攻カレント</li> <li>・ オープンカレッジ（5回シリーズ）～10月まで</li> <li>・ 公開講座（英語6回シリーズ）</li> <li>・ 保育コース合宿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私学教育一斉研修</li> <li>・ スクールキャラバン</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サマーキャンプ</li> <li>・ 秋季卒業式・入学式</li> <li>・ 大学院入学試験</li> <li>・ 第3回オープンキャンパス</li> <li>・ 後期開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミッションクリーン</li> <li>・ 高校第2回オープンキャンパス</li> <li>・ 前期期末考査</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年次生保護者会</li> <li>・ ペーパーラー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後期始業の辞</li> <li>・ 学院祭</li> <li>・ 中学第2回入試説明会</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定校推薦入学試験</li> <li>・ 授業料全額免除、公募推薦入学試験</li> <li>・ ホームcomingデー</li> <li>・ フィリア祭</li> <li>・ クリスマス点灯式</li> <li>・ こどもフェスティバル</li> <li>・ 第4回オープンキャンパス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校第3回オープンキャンパス</li> <li>・ 強歩会</li> <li>・ 後期中間考査</li> <li>・ 音楽会</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレ・カレッジ（入学前教育）</li> <li>・ クリスマス礼拝</li> <li>・ クリスマス祝会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学2年生研修旅行</li> <li>・ 高校1年生研修旅行</li> <li>・ クリスマス礼拝、キャロリング、早天礼拝</li> <li>・ 中学入試（専願・奨学前期）</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学センター試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学入試（一般前期・奨学後期）</li> <li>・ 高校入試（専願・奨学、実技「体育・芸術」）</li> <li>・ 熊本バンド 早天祈祷会</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般Ⅰ期、編入学試験、外国人入学試験</li> <li>・ 大学入試センター利用入学試験</li> <li>・ 業界別企業説明会</li> <li>・ 修士論文発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学入試（一般後期）</li> <li>・ 中学入学者登校日</li> <li>・ 高校入試（一般）</li> <li>・ 後期期末考査</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般Ⅱ期、長期履修学生入学試験</li> <li>・ 卒業式、Farewell Party</li> <li>・ 兼任講師懇談会</li> <li>・ 合格者招集日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校卒業式</li> <li>・ 中学卒業式</li> <li>・ 高校入学者登校日</li> </ul>

	幼稚園	学院全体
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新学期始園式</li> <li>・ 一日入園</li> <li>・ 入園式</li> <li>・ 入園感謝親子礼拝</li> <li>・ イースター礼拝</li> <li>・ お見知り遠足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 辞令交付式</li> <li>・ 新任職員オリエンテーション</li> <li>・ 学院歓迎会</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母の日礼拝</li> <li>・ 健康診断(内科・歯科)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 阿蘇山荘 学院・教会合同清掃</li> <li>・ 決算会計監査</li> <li>・ 理事会・評議員会</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育参観</li> <li>・ 花の日礼拝</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お泊り保育</li> <li>・ 1学期終園式</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期休暇預かり保育</li> <li>・ 夏期保育</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2学期始園式</li> <li>・ 祖父母お祝い会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事会・評議員会</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動会</li> <li>・ 収穫感謝礼拝</li> <li>・ バザー(保護者主催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創立記念日 学院研修会</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成26年度入園児願書受付</li> <li>・ 芋ほり遠足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームcomingデー</li> <li>・ クリスマイルミネーション点灯式</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2学期終園式</li> <li>・ 未就園児クリスマス会</li> <li>・ クリスマス礼拝</li> <li>・ 年長組家族礼拝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事会・評議員会</li> <li>・ 半期決算会計監査</li> <li>・ 教職員クリスマス礼拝</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3学期始園式</li> <li>・ もちつき</li> <li>・ 年中組家族礼拝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新年礼拝</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育参観(だご汁)</li> <li>・ 観劇会</li> <li>・ もも・年少組家族礼拝</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒園感謝礼拝(室園教会)</li> <li>・ 卒園式</li> <li>・ 終園式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事会・評議員会</li> </ul>

## **2.10 その他**

### **2.10.1 該当年度の重要な契約**

特にありません。

### **2.10.2 係争事件の有無と経過**

特にありません。

### **2.10.3 決算日以降に生じた重要な事実**

特にありません。

### 3. 財務の概要

#### 3.1 決算の概要

本学院の会計は「学校法人会計基準」に基づいている。決算の見方は、事業報告書巻末の解説を参照されたい。

##### 3.1.1 貸借対照表の概要

(単位・千円)

科目		2014年度末	2013年度末	増減
資産の部	固定資産	4,689,398	4,645,802	43,596
	有形固定資産	4,430,022	4,411,321	18,701
	土地	1,466,184	1,464,333	1,850
	建物	2,204,889	2,219,368	△14,479
	その他有形固定資産	758,950	727,619	31,330
	その他の固定資産	259,376	234,481	24,895
	流動資産	575,294	633,957	△58,663
	現金預金	483,322	516,737	△33,415
	その他流動資産	91,971	117,220	△25,249
<b>資産の部合計</b>		<b>5,264,691</b>	<b>5,279,758</b>	<b>△15,067</b>
負債の部	固定負債	739,664	741,057	△1,393
	長期借入金	505,134	510,390	△5,256
	その他固定負債	234,530	230,667	3,863
	流動負債	202,552	278,543	△75,992
	短期借入金	61,754	54,350	7,404
	その他流動負債	140,798	224,193	△83,396
<b>負債の部合計</b>		<b>942,215</b>	<b>1,019,600</b>	<b>△77,385</b>
基本金の部	第1号基本金	5,940,837	5,805,056	135,781
	第4号基本金	129,000	129,000	0
基本金の部合計		6,069,837	5,934,056	135,781
繰越消費収支差額の部		△1,747,361	△1,673,898	△73,463
<b>負債の部、基本金の部、及び繰越消費収支差額の部 合計</b>		<b>5,264,691</b>	<b>5,279,758</b>	<b>△15,067</b>

### 3.1.2 資金収支計算書の概要

(単位・千円)

収入の部	2013年度決算	2014年度予算	2014年度決算	前年比
学生生徒等納付金収入	1,236,977	1,241,889	1,252,127	15,151
手数料収入	33,057	32,596	30,990	△2,067
寄付金収入	20,752	38,206	38,601	17,849
補助金収入	544,894	458,175	467,270	△77,624
資産運用収入	4,634	4,423	4,687	53
資産売却収入	0	1,390	2,011	2,011
事業収入	62,353	61,705	60,943	△1,410
雑収入	32,108	43,484	43,756	11,648
借入金等収入	0	60,000	60,000	60,000
前受金収入	102,503	91,372	92,703	△9,800
その他の収入	537,629	547,612	579,877	42,247
資金収入調整勘定	△202,177	△185,556	△173,156	29,021
前年度繰越支払資金	531,477	516,737	516,737	△14,740
<b>収入の部 合計</b>	<b>2,904,207</b>	<b>2,912,034</b>	<b>2,976,547</b>	<b>72,339</b>
支出の部				
人件費支出	1,177,949	1,219,785	1,230,989	53,040
教育研究経費支出	290,542	291,828	295,560	5,018
管理経費支出	155,109	153,212	154,423	△686
借入金等利息支出	10,976	9,624	10,043	△934
借入金返済支出	54,350	57,852	57,852	3,502
施設関係支出	206,336	89,772	89,812	△116,524
設備関係支出	73,763	68,368	70,385	△3,378
資産運用支出	23,000	25,000	25,040	2,040
その他の支出	500,463	559,680	603,381	102,918
資金支出調整勘定	△105,018	△66,160	△44,260	60,758
次年度繰越支払資金	516,737	503,074	483,322	△33,415
<b>支出の部 合計</b>	<b>2,904,207</b>	<b>2,912,034</b>	<b>2,976,547</b>	<b>72,339</b>

2014年度の資金収支は、次年度繰越支払資金が33百万円目減りした。

変動の大きな要因は以下のものが挙げられる。

#### 【主要な収支改善要因】

- 学生生徒等納付金の増加： 中高の入学者数が前年比49名増と大幅に増加した。大学は例年より少なかったが、全体で15百万円の増となった。
- 寄付金の増加： 90周年記念事業募金により18百万円増加した。
- 施設関係支出の減少： 2014年度の施設設備投資の大きなものは認定こども園だけで、

しかもその第二期工事は2015年の検収となったので117百万円の支出減となった。

【主要な収支悪化要因】

- 人件費の増加： 新規業務への対応で、非常勤教職員の人件費が増加した。また退職金も前年度より多かった。53百万円の増加。
- 経常費補助金の減少： 中高の経常費補助金が減少した。
- 2013年度の一過性の収入の消滅： 耐震改修や教育設備の補助金、大学の退職金交付金など過年度の一過性収入の消滅。

3.1.3 消費収支計算書の概要

(単位・千円)

収入の部	2013年度決算	2014年度予算	2014年度決算	前年比
<b>帰属収入の部</b>				
学生生徒等納付金	1,236,977	1,241,889	1,252,127	15,151
手数料	33,057	32,596	30,990	△2,067
寄付金	20,752	38,346	38,740	17,988
補助金	544,894	458,175	467,270	△77,624
資産運用収入	4,634	4,423	4,687	53
事業収入	62,353	0	60,943	△1,410
資産売却差額	0	1,390	621	621
雑収入	55,857	62,015	13,007	△42,850
<b>帰属収入合計</b>	<b>1,958,524</b>	<b>1,851,529</b>	<b>1,868,386</b>	<b>△90,138</b>
基本金組入額	△162,055	△237,273	△135,781	26,274
<b>消費収入の部合計</b>	<b>1,796,469</b>	<b>1,614,256</b>	<b>1,732,605</b>	<b>△63,864</b>
<b>消費支出の部</b>				
人件費	1,203,289	1,189,835	1,205,062	1,773
教育研究経費	403,040	412,144	420,573	17,533
管理経費	166,144	167,675	167,757	1,613
借入金等利息	10,976	9,624	10,043	△934
資産処分差額	2,444	0	2,042	△402
その他の支出	276	250	591	315
<b>消費支出の部合計</b>	<b>1,786,169</b>	<b>1,779,528</b>	<b>1,806,068</b>	<b>19,899</b>
消費収支差額	10,300	△165,272	△73,463	△83,764

2014年度の帰属収支は、帰属収入が前年度比90百万円減の1,868百万円、消費支出が20百万円増の1,806百万円、帰属収支差額は110百万円減の62百万円となった。

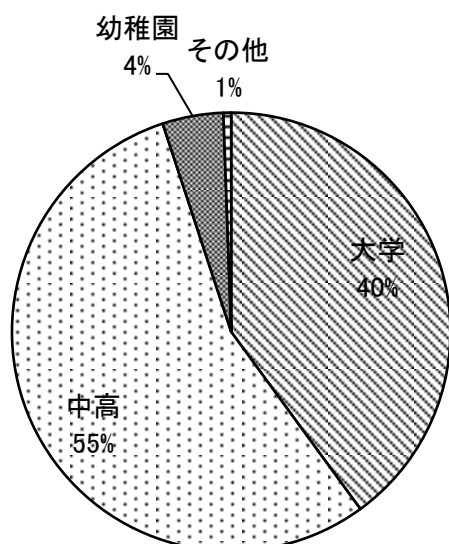
帰属収支差額と減価償却額の内容は下表のとおり。

	2013 年度決算	2014 年度予算	2014 年度決算	前年比
帰属収支差額	172,356	72,001	62,318	△110,038
大 学	45,364	2,540	△4,780	△50,145
高 校	119,646	59,162	58,280	△61,366
中学校	26,313	26,015	27,887	1,574
幼稚園	2,970	△1,299	△3,486	△6,456
減価償却額	123,533		138,287	
減価償却累計額	2,074,345		2,185,354	

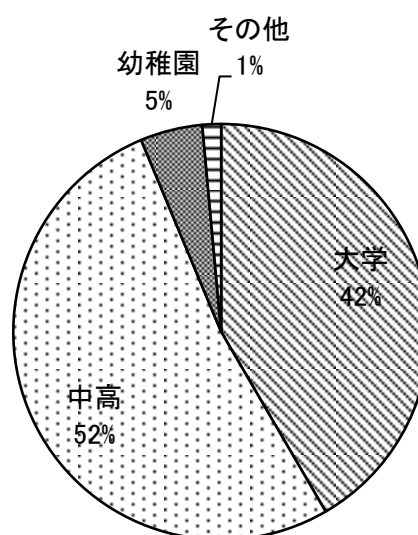
### 3.1.4 収支の機関別内訳

法人全体の帰属収支の機関別内訳は、次のグラフのとおりである。

【帰属収入】



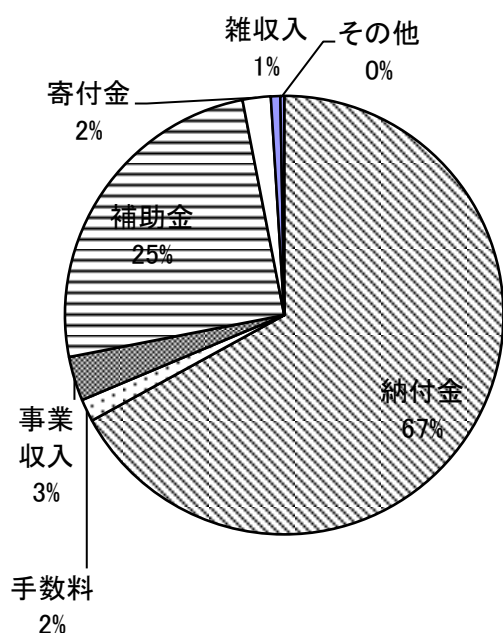
【消費支出】



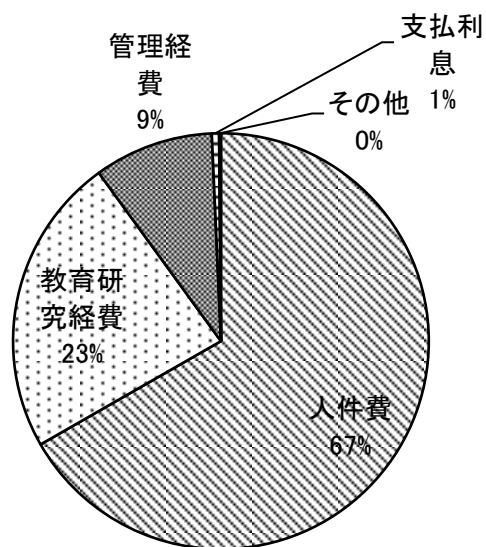
### 3.1.5 収支の大科目別内訳

法人全体の帰属収支の大科目別内訳は、次のグラフのとおりである。

【帰属収入】



【消費支出】



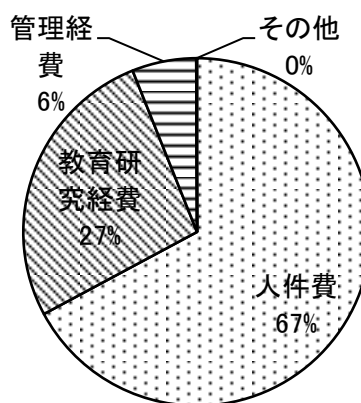
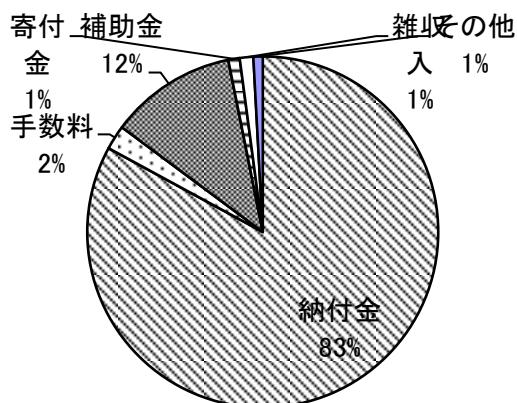
### 3.1.6 機関別収支の内訳

各機関の帰属収支の大科目別内訳は、次のグラフのとおりである。

なおグラフにおいて、中学・高校と幼稚園の収入の内訳について注意が必要である。高校には就学支援金、幼稚園には就園奨励費という制度がある。いずれも保護者の納付金負担を軽減するのが目的であるが、高校の就学支援金は生徒への給付とされているので、このグラフでは納付金に含まれている。一方、幼稚園の就園奨励費は、保護者の納付金負担を軽減した幼稚園に対する給付とされているので、補助金に含まれている。

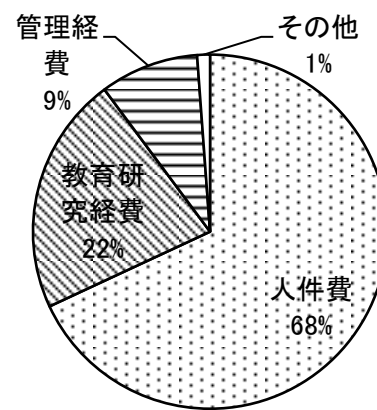
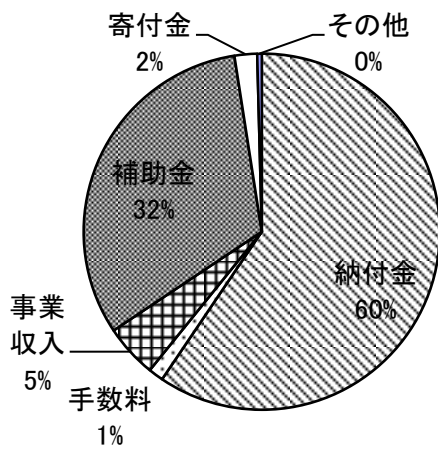
なお、ルーテル学院幼児園の保育料は、学校法人会計上は事業収入となるが、このグラフに限り幼稚園の納付金の一部として計上した。

【大学の消費収支の構成】

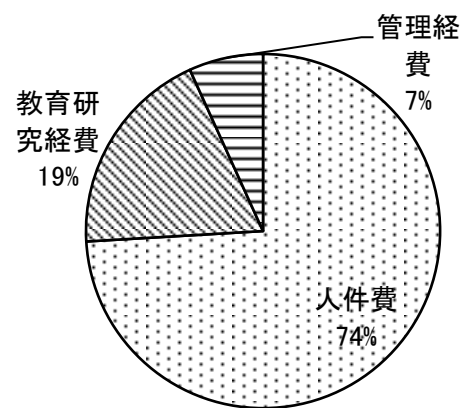
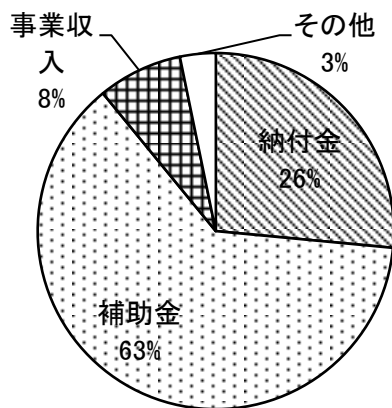




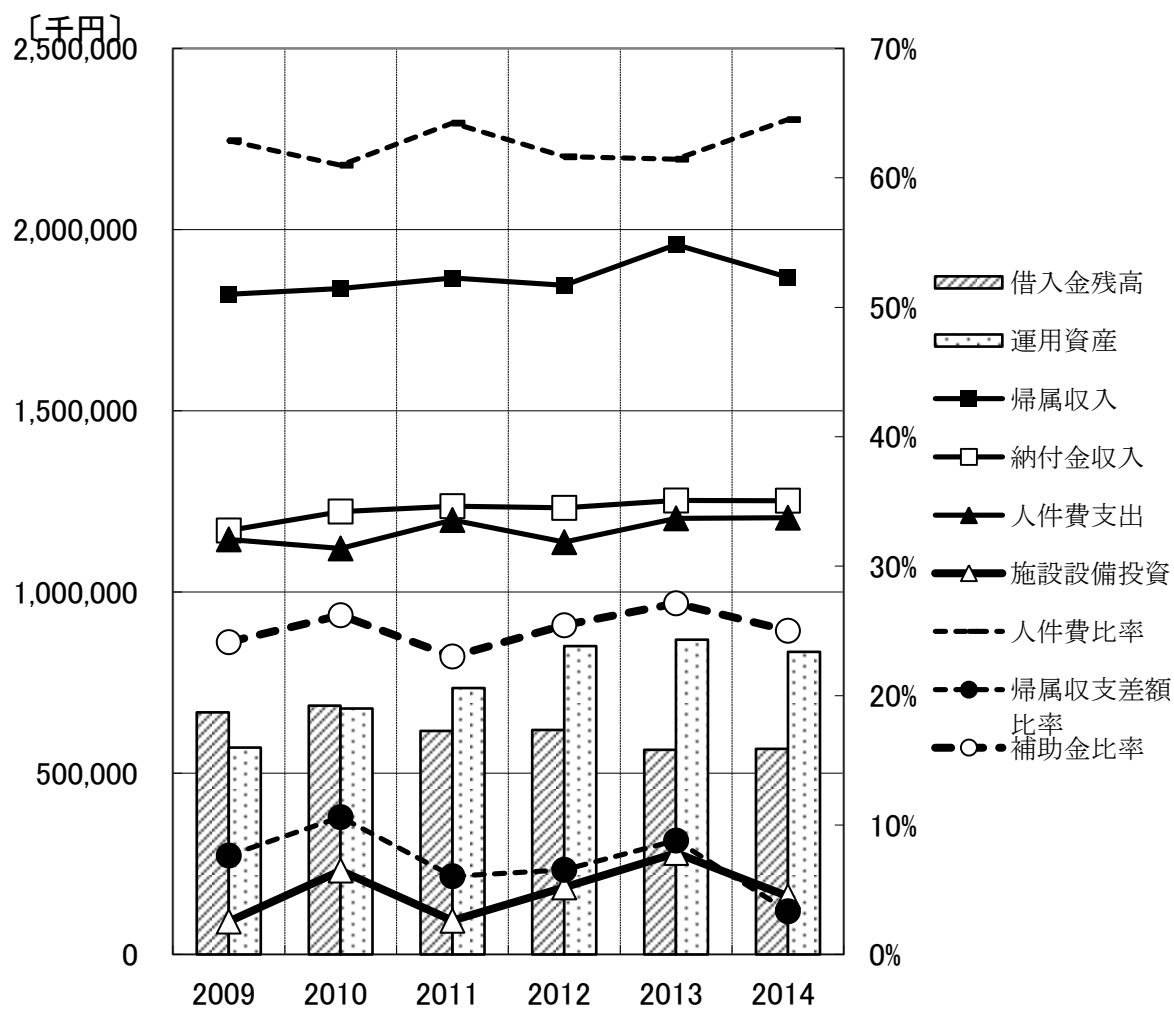
【中学・高校の消費収支の構成】



【幼稚園・幼児園の消費収支の構成】



### 3.2 経年比較



### 3.3 主な財務比率比較

#### 3.3.1 貸借対照表関係比率

※「良い」欄：△高いほど良い。▼低いほど良い。

観点	比率名	算式	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	平均値	良い	本学院の傾向
自己資金は充実しているか	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資産}}$	78.7%	80.5%	80.0%	80.7%	82.1%	87.4%	△	年々改善してきたがまだ平均値に届かない。
	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資産}}$	-34.7%	-35.5%	-33.0%	-31.7%	-33.2%	-12.2%	△	また2年前のレベルに戻ってしまった。
固定資産は長期資金でまかなわれているか	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	114.7%	110.9%	109.3%	109.1%	108.5%	99.2%	▼	8年連続改善しているが、分母の自己資金がまだ小さい。
	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金} + \text{固定負債}}$	94.3%	92.8%	91.3%	92.9%	92.6%	91.7%	▼	8年連続改善しているが、分母の自己資金がまだ小さい。
資産構成はどうか	有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	86.1%	85.1%	83.3%	83.6%	84.1%	61.2%	▼	流動資産の減少により前年より悪化。
負債に備える資産が蓄積されているか	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	230.8%	287.3%	301.6%	227.6%	284.0%	245.9%	△	短期負債に対する返済余力は問題ない。
	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	428.5%	397.5%	536.5%	504.1%	521.4%	327.9%	△	年度による変化が大きいですが、年度末手元資金は十分である。
	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職金引当資産}}{\text{退職給与引当金}}$	26.7%	29.2%	30.8%	32.0%	40.7%	67.1%	△	2014年度は2千万円を一括して積みましたので改善した。

(つづき)

観点	比率名	算式	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	平均値	良 い	本学院の傾向
負債の割合 はどうか	固定負債構 成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資産}}$	17.1%	15.7%	15.8%	14.0%	14.0%	7.2%	▼	確実に返済しつつあるも、長 期にわたって償還すべき負債 がまだ多い。
	流動負債構 成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資産}}$	4.2%	3.7%	4.1%	5.3%	3.8%	5.4%	▼	流動負債は低く、問題ない。
	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	21.3%	19.5%	20.0%	19.3%	17.9%	12.6%	▼	年々改善してきたがまだ平均 値に届かない。
	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	27.0%	24.2%	24.9%	23.9%	21.8%	14.4%	▼	他人資金は自己資金を上回っ ていない。

※『平均値』は、医歯系除く全国の大学法人504のデータの加重平均（2013年度。私学事業団まとめ）

### 3.3.2 収支計算書関係比率

観点	比率名	算式		2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	平均値	良い	本学院の傾向
経営状況はどうか	帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収支差額}}{\text{帰属収入}}$	全体	10.6%	6.0%	6.5%	8.8%	3.3%	5.2%	△	比較的良い水準を維持してきたが大学と幼稚園が急落した。
			大学	8.8%	7.8%	5.5%	5.6%	-0.6%	8.2%		
			中高	14.2%	6.9%	8.5%	13.7%	8.4%	0.3%		
			幼稚園	7.8%	5.0%	10.8%	3.6%	-4.2%	11.2%		
収入の構成はどうか	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{帰属収入}}$	全体	65.9%	65.6%	66.1%	63.2%	67.0%	72.4%	△	各学校とも学生生徒数を確保できており安定している。
			大学	80.3%	78.0%	82.2%	78.9%	82.9%	79.5%		
			中高	57.4%	57.8%	56.5%	53.6%	59.5%	54.3%		
			幼稚園	37.2%	36.4%	34.5%	33.9%	26.5%	34.9%		
	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	全体	0.7%	1.3%	0.8%	0.2%	0.2%	2.2%	△	90周年募金を開始したが、実際の入金額は比率に影響するに至っていない。
			大学	0.7%	0.8%	0.8%	0.8%	1.0%	1.3%		
			中高	0.6%	1.6%	1.0%	1.1%	2.0%	1.4%		
			幼稚園	0.9%	0.8%	1.9%	1.8%	2.0%	0.6%		
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	全体	26.8%	23.7%	20.2%	20.7%	19.2%	12.8%	△	耐震補助金が出なかった。また、高校の生徒数超過で、納付金上がる一方補助金減額になった。	
		大学	12.8%	9.5%	11.9%	10.8%	11.7%	9.1%			
		中高	35.3%	33.0%	34.8%	38.7%	31.9%	36.2%			
		幼稚園	55.2%	56.2%	56.8%	56.0%	62.6%	56.4%			
支出の構成は適切であるか	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	全体	61.0%	64.2%	61.6%	61.4%	64.5%	52.4%	▼	大学は教員増で悪化。全体としても金額はじわじわ上昇している。
			大学	61.5%	64.6%	61.8%	65.3%	67.6%	49.3%		
			中高	59.7%	63.1%	61.2%	57.5%	61.7%	66.4%		
			幼稚園	71.9%	74.2%	67.6%	74.2%	77.1%	61.4%		

(つづき)

観点	比率名	算式		2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	平均値	良 い	本学院の傾向
	教育研究経 費比率	教育研究経費 帰属収入	全体	19.4%	20.3%	22.0%	20.6%	22.5%	31.5%	△	どの校種もあまり良いとい えない。
			大学	23.1%	21.9%	27.0%	23.7%	27.0%	33.9%		
			中高	16.8%	19.2%	18.6%	18.6%	19.7%	27.1%		
			幼稚園	17.6%	17.5%	17.1%	16.6%	20.0%	26.7%		
	管理経費比 率	管理経費 帰属収入	全体	8.2%	8.7%	9.2%	8.5%	9.0%	8.8%	▼	妥当な水準である。
			大学	6.4%	5.6%	5.7%	5.3%	6.0%	7.2%		
			中高	8.0%	9.4%	10.1%	8.5%	8.2%	5.2%		
			幼稚園	2.6%	3.3%	4.4%	5.6%	7.1%			

※『平均値』は、次のカテゴリの2013年度の加重平均値（私学事業団まとめ）

全体 医歯系除く全国の大学法人 504法人  
 大学 医歯系除く全国の大学 552大学  
 中高 大学法人に属する生徒数600～1200人の高校 227校  
 幼稚園 熊本県の幼稚園 103園

### 3.4 その他

#### 3.4.1 有価証券の状況

区分	銘柄	帳簿価額	表示科目
債券	三菱東京UFJ銀行劣後債	1,000万円	退職給与引当特定資産
債権	国債	200万円	
株式	キリスト新聞社	5万円	有価証券

#### 3.4.2 借入金の状況

借入先	借入残高	利率	担保等
公的金融機関	4,998万円	1.8%	あり
市中銀行・信用金庫	5億1,690万円	0.61～2.4%	あり

#### 3.4.3 学校債の状況

学校債は、発行しておりません。

#### 3.4.4 その他

##### 3.4.4.1 寄付金の状況

寄付金の種類	寄付者	金額	摘要
新入生寄付金	保護者	239万円	減価償却引当預金へ
一般寄付金	保護者	81万円	卒業(園)記念寄付金
	保護者、団体	28万円	行事等教育活動支援
特別寄付金	保護者、企業、教職員	3,349万円	90周年記念事業寄付金
	理事	30万円	ルーテルアートアカデミー支援金
	高校同窓会	30万円	海外研修支援金
	企業	103万円	教育活動支援等
現物寄付金	教職員	14万円	教育研究用機器備品

全体で3,874万円の寄付金をいただいた。その内訳は上の表のとおりである。これとは別に、企業からの受配者指定寄付金を53件・908万円頂いたが、現在、私学事業団に預託している。この寄付金は、事業計画に基づいて受配手続きを取る予定である。

新入生寄付金は、それぞれの部門の新入生保護者に寄付をお願いし、多くのご協力を頂くことができた。寄付者の皆様には、心から感謝申し上げます。

##### 3.4.4.2 収益事業の状況

収益事業は、行っておりません。

##### 3.4.4.3 関連当事者との取引

関連当事者との取引はありませんでした。

## 財務の概要・付録 学校会計について

本学院の会計は、「学校法人会計基準」に基づき、以下の三種類の計算書類を作成しております。これらについて、本学院の仕訳方法を踏まえてご説明致します。

### 資金収支計算書 とは・・・

毎会計年度、当該会計年度の、学院の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容、並びに、当該会計年度における支払資金（現金及びいつでも引き出すことができる預貯金）の収入、及び支出のてん末を明らかにするものです。企業会計で言うキャッシュフロー計算書に相当します。

主な科目の内容は、以下の通りです。

- 【学生生徒納付金収入】 授業料収入、入学金収入、施設費収入等の納付金
- 【手数料収入】 入学検定料収入、中高の進路模試の試験料、大学の各種検定試験料、在学・卒業等の証明手数料等
- 【寄付金収入】 90周年記念事業寄付金を始めとする、寄付者が用途を指定する特別寄付金と、指定のない一般寄付金。
- 【補助金収入】 経常費、施設整備等の全ての補助金。
- 【資産運用収入】 受取利息収入と、学内施設や阿蘇山荘利用等の施設設備利用料収入。
- 【事業収入】 中高の寮活動並びに幼稚園のスクールバス利用等を計上する補助活動収入や、幼稚園の保育料等の収入、大学で行う公開講座収入、韓国提携大学の学生を受け入れる受託事業収入等。
- 【雑収入】 退職金団体交付金収入や、大学のボランティア体験の体験学習収入、大学科研費の間接経費収入等。
- 【前受金収入】 前年度の3月までに受け入れた収入で、当年度になって入学金や施設充実費に振替えられる、資金収支計算書特有の科目です。
- 【その他の収入】 預り金受入収入や仮払金回収収入など、短期的に精算される収入で、雑収入と違い、消費収支計算書に影響しません。
- 【資金収入調整勘定】 収入として計上したが未収となっている期末未収入金や、前受金として前年度までに受け入れた収入を、当年度に本来の科目に計上した前期末前受金等を調整する科目で、マイナス表示します。
- 【教育研究経費支出及び管理経費支出】  
経費支出は、教育活動及び研究に用いるものを「教育研究経費」、それ以外を「管理経費」に分けています。
- 【施設関係支出】 土地支出、建物支出、構築物支出、建設仮勘定支出、施設利用権。
- 【設備関係支出】 教育研究用機器備品やその他の機器備品、図書、車両等。
- 【資産運用支出】 特定預金や特定資産への繰入支出や有価証券購入支出等。
- 【その他の支出】 資産に計上する支出で、前払金支払支出や仮払金支払支出、また、負債の支払いとして前期末未払金支払支出や預り金支払支出等。



【資金支出調整勘定】支出として計上したが未払いとなる期末未払金や、前年度までに支払っている経費を当年度に本来の科目に計上した前期末前払金等を調整する為の科目で、マイナス表示されます。

## 消費収支計算書 とは・・・

当該年度における学院の諸活動の計画を、消費収入及び消費支出の内容と収支の均衡状態とを明らかにし、財務状況が健全であるかどうかを計算・表示するもので、企業会計の損益計算書に相当しますが、「基本金組入れ」を表示する点が異なります。

具体的には、「帰属収入」（借入金のような学院の負債とならない学生生徒納付金、補助金、寄付金等）から「基本金組入額」を差引き（この金額を「消費収入」と言います）、人件費や経費等の「消費支出」との均衡状況を示します。科目の多くは「資金収支計算書」と同じです。

消費収支計算書だけにみられる主な科目は以下の通りです。

【現物寄付金】 資金の受入れがないので消費収支上にしか反映されません。

【退職給与引当金繰入額】 実際の退職金支払いに先立って、予め毎年度に負担額を消費支出として計上することが、消費収支の均衡を維持するうえで必要とされるものです。具体的な計算方法は、大学の場合、期末要支給額を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と、交付金の累計額との組入調整額を加減した金額を全額計上。大学以外の教職員に係る退職給与引当金については、期末要支給額から、(社)熊本県私学教育振興会よりの交付金相当額を控除した金額を全額計上します。

【減価償却額】 固定資産のうち建物・構築物・機器備品などは、時の経過により価値が減少するものとして減価償却を行い、取得原価を毎年度の消費支出に費用配分しています。学校法人会計基準では、全て定額償却です。

【資産処分差額】 不動産などを売却し、その代価が帳簿残高を下回った場合、その差額を計上。また建物・構築物などの取壊しや、使用不能になった機器備品を除却処分した場合、処分時点の帳簿残高を計上。

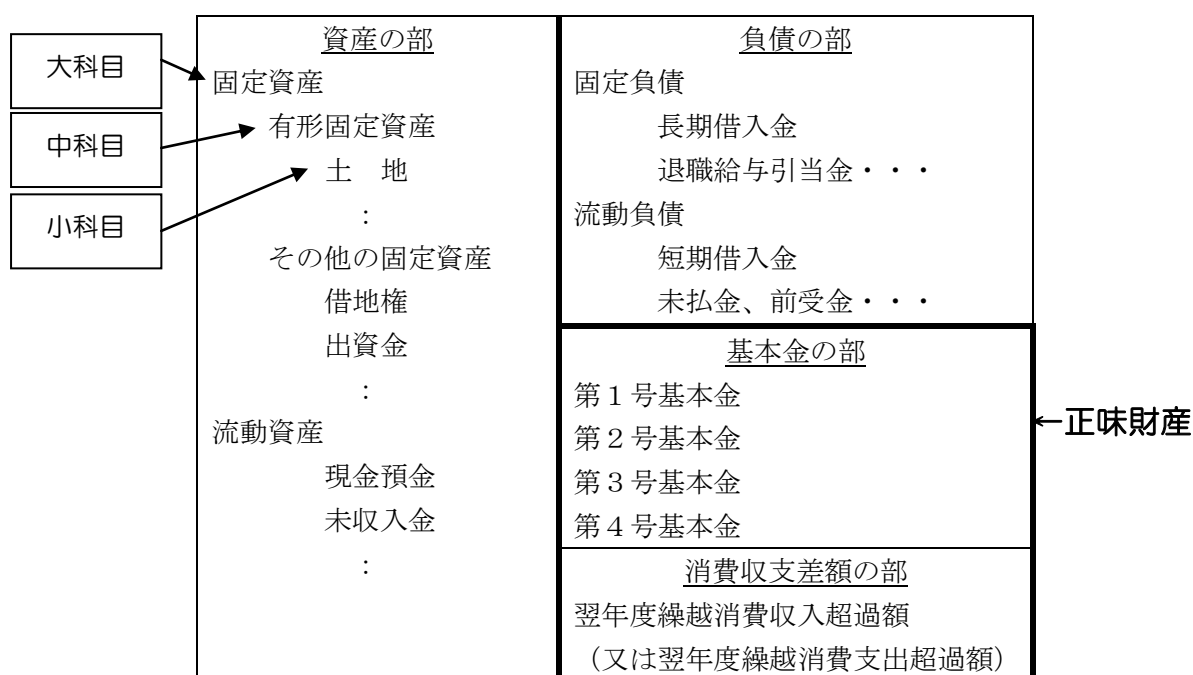
【基本金組入額】 学校法人が諸活動の計画に基づき、教育研究の維持・充実に必要な校地、校舎、機器備品、図書、現金・預金などの資産を継続的に保持するための金額であり、帰属収入から組入れた金額で、下表のように第1号基本金から第4号基本金までがあります。

第1号基本金	施設（土地、建物等）・設備（機器備品、図書等）の取得額、及びその取得のために借り入れた資金の返済額を組入額として計上
第2号基本金	計画に基づき先行組み入れた金銭等の額
第3号基本金	周年記念奨学基金等として継続的に保持・運用するために組み入れた金銭等の額
第4号基本金	必要な運転資金を常時保持するため、恒常的に保持すべき資金として基本金に組み入れる額

※基本金と資本金：「基本金」とは、企業会計の資本金とは異なり、学校法人会計独自の計算構造で、学校法人がその諸活動の計画に基づき、必要な資産を継続的に保持するために帰属収入から組み入れた金額です。

### 貸借対照表 とは・・・

会計年度末における学校法人の財政状態（ストック）を表したものです。基本金と消費収支差額の合計額が、学院の正味財産で、企業会計の資本の部に相当します。従って、「資産＝負債＋基本金＋消費収支差額」となります。



- 【固定資産】 耐用年数が2年以上の有形固定資産（土地・施設・設備・図書等）と、保有期間が1年を超えると見込まれる有価証券、債権などの資産のこと。
- 【流動資産】 現金預金・未収入金・前払金・仮払金等。
- 【固定負債】 長期借入金・退職給与引当金等。「退職給与引当金」は、教職員に将来退職金として支払うべき退職金を、負債として認識するもの。中高・幼稚園と大学とでは引当金の計算方法が違っている為、それぞれに計算して計上しています。
- 【流動負債】 短期借入金・未払金・前受金・預り金・仮受金等。